

【岐阜女子大学】メタデータ記述用紙

	メタデータ項目	メタデータ記述欄
1	ID	
2	表題名	沖縄の歴史人物
3	資料名	恩納ナビー 恩納松下の碑
4	内容分類	郷土・歴史
5	索引語	沖縄、歴史、恩納ナビー、琉歌、歌碑、恩納岳、恩納番所跡
6	説明	<p>恩納ナビー（生没年不詳）は、18世紀の琉球王国の沖縄本島北部恩納村で農民の娘として生まれた。吉屋チルーと並んで、琉球を代表する二大女流歌人として知られている。景観や熱烈な恋情を歌った作風が特徴的である。</p> <p>恩納村の恩納番所跡に隣接するように設置された歌碑「恩納松下の碑」には次のような歌が刻まれている。この歌碑も松の下に設置されている。</p> <p>（琉歌）恩納松下に 禁止の碑たちゆす 恋しのぶまでの 禁止や無いさめ （意味）恩納藩所前の松の木の下になにやら禁止の立て札が立っていると いうが、まさか男女の恋を忍ぶことまで禁ずるようなおふれではないでしょう。</p> <p>この歌については、「若者たちが集い、毛遊びを興じていた大きな松の木で詠まれた」とも、「琉球王朝時代、中国からの冊封福使一行が本島北部の名所巡りをした際、恩納番所で一晩宿をとることになったため、当時盛んであった若い男女の毛遊びを取り締まる立て札を松の下に立てた」ともいわれている。</p> <p>この歌碑「恩納松下の碑」の後方には恩納岳が見え、恩納岳を詠った琉歌も有名である。</p> <p>（琉歌）恩納岳あがた 里が生まれ島 森ん押し除きてい 此方なさな （意味）恩納岳の向こうは愛しいひとの生まれた村。あの山さえも押しのけてこちらに引き寄せよう</p> <p>恩納番所跡があり、番所跡の小さな建物の中には仏壇がある。番所は、現在でいう役所であり、恩納番所跡として現在も残されている。</p> <p>周辺には、恩納ナビー生誕の地マッコウや恩納番所跡など、恩納ナビーに関する地を巡ることができる散策ルート（所要時間：徒歩約30分程度）や、場所の説明などについての案内板がある。</p>
7	形式	静止画
8	氏名	撮影者：*****
9	時代・年	2021/12/25
10	地域・場所	沖縄県国頭郡恩納村恩納 2571
11	利用条件	表示 4.0 国際 (CC BY 4.0)
12	関連資料	
13	権利者	岐阜女子大学
14	協力者	なし
15	登録日	2021/12/26
16	登録者	岐阜女子大学 大学院 新里香乃
17	ファクトデータ	circd0912-0024. jpg

18	サムネイル	
19	公開の可否	公開可
20	*特色	<p>2009年、沖縄方言はユネスコにより消滅危機言語の1つに認定された。日本国内では、8つの方言・言語が消滅の危機にあるとされ、そのうちの5つが沖縄の言葉である。</p> <p>その方言が使われているのが琉歌である。</p> <p>琉歌は、奄美群島・沖縄諸島・宮古諸島・八重山諸島に伝承されている叙情短詩形の歌で、八・八・八・六音の三十音からなる定型の短歌が一般である。しかし、仲風(なかふう)とよばれる和歌風の音数(五・七)の混じったものや、八音を連ねて最後を六音で結ぶ長歌形式のものもある。</p> <p>音楽と舞踊と深く結び付いて発達し、現代に受け継がれている。</p> <p>琉歌の成立は15、6世紀ごろにさかのぼれる。その母胎はオモロ、ウムイ、クエーナなどという沖縄諸島に伝えられた叙事的な古謡に求められる。オモロは本来不定型で複雑な歌形をもち、主題も祭式にかかわるものが多いが、後期になると、人や労働にかかわる主題をもつものななかから琉歌とまったく同様の音数のものが現れ、琉歌への改作も行われるようになる。</p> <p>ちょうどこのころ入ってきた三線(さんしん)楽器は、それまで手拍子や鼓(つづみ)にあわせて謡われてきた古謡の悠長で長い歌形を、短く緊張させて律動的に定型化させる主因となったと思われる。</p> <p>参照：株式会社DIGITALIO，コトバンク，琉歌，https://kotobank.jp/word/%E7%90%89%E6%AD%8C-658582，アクセス20220828.</p>
21	*活用支援	
22	*利用分野	教育、生涯学習、地域学習
23	*改善結果	
24	*処理プロセス	
25	機関外リンク情報	
26	目標	
27	紹介	